

## ■ 計画案に対する市民意見

第2次推進計画は、子どもに関する総合的な計画である新未来プランの基本目標に位置づけていることから、一体的なものとして市民から意見を募集しました。寄せられたご意見については、意見の概要とそれに対する札幌市の考え方をとりまとめるとともに、計画に反映できるものは内容を変更しました。

なお、意見の募集にあたっては、一般用（高校生以上向け）の資料に加え、小・中学生向けの資料を作成し、各学校を通して小学4年生以上の全クラスに配布したほか、児童会館や図書館など、子どもが利用する施設でも配布し、子どもが意見を提出しやすいものとなりました。

また、市内の小・中学校3校を訪問し、計画案の説明を行い、児童・生徒と意見交換を行いました。

### 1 実施概要

#### (1) 意見募集期間

平成27年1月28日（水）～2月26日（木）

#### (2) 募集方法

郵送、持参、FAX、電子メール

#### (3) 主な資料配布場所

子ども未来局、市役所本庁舎、各区役所、各まちづくりセンター、児童会館など

### 2 意見結果

#### (1) 提出者人数・件数

一般 176 人、444 件

小・中学生 751 人、1,080 件

#### (2) 提出者の内訳

区分	一般	
	提出者数	構成比
10代	0	0%
20代	19	10.8%
30代	53	30.1%
40代	29	16.5%
50代	13	7.4%
60代以上	1	0.6%
70代以上	2	1.1%
不明	59	33.5%
合計	176	100%

区分	子ども	
	提出者数	構成比
小学生	281	37.4%
中学生	466	62.1%
不明等	4	0.5%
合計	751	—

(3) 意見の内訳

ア 一般

意見区分	件数	構成比
計画全般に関する意見	25件	5.6%
少子化対策に関する意見	8件	1.8%
子どもの権利の推進に関する意見	10件	2.3%
いじめや児童虐待などの子どもの権利侵害に関する意見	10件	2.3%
保育施設の整備や保育サービスに関する意見	203件	45.7%
放課後の居場所・留守家庭支援に関する意見	48件	10.8%
仕事と子育ての両立に関する意見	7件	1.6%
妊娠・出産や親子の健康に関する意見	15件	3.4%
子育て支援・経済的支援に関する意見	57件	12.8%
防犯・子育てしやすい生活空間に関する意見	1件	0.2%
学校教育に関する意見	5件	1.1%
体験機会・活動場所に関する意見	15件	3.4%
社会的自立が困難な若者への支援に関する意見	1件	0.2%
障がいのある子ども・発達が気になる子どもへの支援に関する意見	12件	2.7%
ひとり親家庭への支援に関する意見	7件	1.6%
その他の意見	20件	4.5%
合計	444件	100%

イ 小・中学生

意見区分	件数	計画体系の位置付け	
		推進計画	新未来プラン
(1) 子どもの権利を多くの人に知ってもらう普及啓発に関すること	199件	1-1	1-1
(2) 子どもの権利を理解してもらうため、学校と協力すること	55件	1-2	1-1
(3) 意見を言ったり、参加したりできる機会を増やすこと	79件	2-1 2-2	1-2
(4) 子どもの体験活動や児童会館について	147件	2-3 3-2	1-2 1-3 3-3
(5) 子どもの権利侵害から子どもを守る取組について	118件	4-1 4-2	1-4
(6) いじめや不登校について	222件	3-2 4-1	1-3 1-4
(7) 子育て家庭への支援について	69件	3-1	2-1 2-3
(8) だれもがお互いを大切にし合う社会について	18件	—	4-1
(9) その他、計画全体	173件	—	—
合計	1,080件	—	—

### 3 学校への訪問

#### (1) 実施日

平成27年2月3日（火）～5日（木）の3日間

#### (2) 対象

小学校1校、中学校2校

#### (3) 概要

各学校を訪問し、小・中学生向けの計画案をもとに、計画の目的、権利条例や札幌の子ども現状、子育て支援の取組などについて説明し、児童・生徒と意見交換を行いました。

#### (4) 児童・生徒からの主な意見

##### 【子どもの権利の普及啓発について】

- ・ 子どもの権利について、教科書に書いて、道德の授業で教えるようにすると、子どもが理解するようになる。
- ・ 子どもの権利や権利条例について、テレビCMをながす。
- ・ お祭りやイベントなど、人が集まる場所でPRすると多くの人を知ることができる。
- ・ 子どもには、絵本だけではなく、カルタやゲームなどにすると、遊びながら知ることができる。
- ・ 「権利」という名前が難しいので、別の言葉に変える。

##### 【子どもの意見表明や参加について】

- ・ 言論の自由があることをきちんと子どもに教える。
- ・ スマートフォンを持っている子どもも多いので、気軽に意見を言うことができるように、アプリで市役所へ意見や提案を伝えることができるとよい。

##### 【児童会館などでの体験活動について】

- ・ ミニ児童会館でサッカーがしたい。
- ・ 中学生が児童会館で利用できる夜間の時間が短いので、延ばしてほしい。

##### 【子育て支援について】

- ・ 「子育て」に対して、「楽しさの方が多い」「楽しさと大変さが同じくらい」「大変さの方が多い」どれだと思うか？
  - 「楽しさが多い」3割弱
  - 「同じくらい」5割程度
  - 「大変さ」2割程度
- ・ 子育ては、大変だとは思いますが、楽しさの方が多いと思う。子どもが小さいうちは大変だけど、成長する過程を見ることができ、それに伴って親も一緒に成長できると思う。
- ・ 子育てサロンが増えると、女性が安心して外出できるようになる。
- ・ 自分に子どもがいることを想像すると、歩きタバコをしている人などがいると悪影響があり安心できないので、もっと対処してほしい。

- ・ 子ども服の店でも段差があったり、小さい子連れの人専用のエレベーターに子連れではない人がのっていたりするので、そうしたことをもっとみんなで考えていけると、子育てしやすいまちになると思う。



## 4 計画案からの修正点

### 修正点 1

該当箇所	基本目標 2 基本施策 2 「子どもの参加の機会の充実と支援」(P. 21)
修正前	子どもの参加を進めるためには、子ども自身が内容を理解できるよう子どもに対する適切な情報提供が必要であることから、例えば家庭でそのことについて話し合ったり、子ども同士で話し合い考えたりできるよう、子どもに分かりやすく、魅力的な情報発信に努めます。
修正後	子どもの参加を進めるためには、子ども自身が内容を理解できるよう子どもに対する適切な情報提供が必要であることから、例えば家庭でそのことについて話し合ったり、子ども同士で話し合い考えたりできるよう、子どもに分かりやすく、 <u>魅力的な情報発信に努めるとともに、子どもが気軽に意見を提案できる方法を取り入れていきます。</u>
修正理由	子どもが市政等について意見を言うことについて、子どもから、「もっと気軽に意見を言える方法があるとよい。」といった趣旨の声が寄せられました。計画では、返信ハガキのついた資料による子どもからの提案意見の募集なども行うことから、本文にもその旨を明記しました。

### 修正点 2

該当箇所	基本目標 3 基本施策 3 「子どもが安全に安心して過ごせる地域づくり」(P. 29)
修正前	子どもを不審者から守るための活動や、子どもが身近な公園で安心して遊ぶことができるための活動、さらには非行防止を含めた子どもの健全育成に関する活動など、地域住民が関心を持って子どもと関わる取組を、町内会や青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会、PTAなどの関係団体、NPOなどと連携を図りながら地域全体で進めていきます。
修正後	子どもを不審者から守るための活動や、子どもが身近な公園で安心して遊ぶことができるための活動、 <u>いじめや児童虐待の理解</u> さらには非行防止を含めた子どもの健全育成に関する活動など、地域住民が関心を持って子どもと関わる取組を、町内会や青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会、PTAなどの関係団体、NPOなどと連携を図りながら地域全体で進めていきます。
修正理由	いじめや児童虐待といった子どもの権利侵害への対応については、基本目標 4 に位置付け、具体的な施策の展開をしているところですが、「子どものいじめや虐待など、関係団体を対象とした講習を実施すべき。」といったご意見をいただきました。権利侵害の予防や対応については、行政のみならず地域の役割が非常に重要であるため、「子どもが安全に安心して過ごすための地域づくり」に権利侵害を未然に防ぐ観点から、ご意見を反映するよう修正を加えました。

### 修正点3

該当箇所	基本目標4 基本施策2 「権利侵害を起こさない環境づくり」(P.33)
修正前	子どもに対しては、子どもが自ら持つ権利に対して理解を深めるとともに、子どもが他者を尊重する意識を身に付けることができるよう、障がい、民族、国籍、性別など、子どもの権利を含めた人権に関する教育や様々な機会を通じた学びの機会を充実します。
修正後	子どもに対しては、子どもが自ら持つ権利に対して理解を深めるとともに、子どもが他者を尊重する意識を身に付けることができるよう、障がい、民族、国籍、性別など、子どもの権利を含めた人権に関する教育や <u>直接子どもたちに働きかける出前授業などをはじめとした</u> 様々な学びの機会を充実します。
修正理由	子どもたちから、「パンフレットなどの広報だけではなく、直接学校に来て、どんな相談があるのかなどの説明を受けた方が実感できる。」といった声が複数寄せられたことから、計画本文にもその内容を反映させるよう修正を加えました。